

## 第2回社会教育委員会議 資料からの主な変更点

1/3

計画書素案 該当箇所	変更内容	備考
P.3～6 第2章 策定の背景	新たに記載	事務局における検討により記載
P.4 下から3行目	総合計画の内容に合わせるため「SDGSの一体的な推進を掲げ」を「SDGSの実現を基本姿勢のひとつ」として掲げ」に変更	担当課の修正
P.7 1行目	基礎調査によるものであるため「第2次野洲市総合計画の将来構想における本市のシミュレーションによると、」を「第2次野洲市総合計画にかかる基礎調査によると、」に変更	担当課の修正
P.7～15 第3章 本市の現状と課題	1 人口動態 2 市民活動団体 3 社会教育施設等に状況 4 学力・学習状況調査結果による現状の整理について記載	事務局における検討により記載
P.10 2 市民活動団体数	7行追記	事務局における検討により記載
P.16、20、23 4 前「計画」における生涯学習関連事業の取組と課題	(1) 市民の主体的な活動の展開 (2) 学ぶことが活かされる仕組みづくり (3) 学びを通じてつながる機会づくり のそれぞれに【前計画の振り返り】を追記	事務局における検討により記載
P.17 取組状況・成果	「○市民の必要とする～」を「○図書館では市民の必要とする～」に変更 「○資料整備と～」を「○図書館では資料整備と～」に変更 「○学級文庫用図書セット～」を「○図書館では学級文庫用図書セット～」に変更  「●交付金活用で～買い替えできたが～」を「●交付金活用で～買い替えできましたが～」に変更  ○学級文庫用図書セット～の項目 「中学校 R5.4月」を「中学校 R4. 4月」に変更	担当課の修正

計画書素案 該当箇所	変更内容	
P.19 5 前「計画」における生涯学習関連事業の取組と課題	「貸館機能中心のコミュニティセンター ～ 低下しています。」を「貸館等を通じた活動の場の提供を行っていますが、利用者等が固定してきており、地域の多世代の交流の場としての役割を果たしていく必要があります。」に全文修正	担当課の修正
P.26～	「生かす」を「活かす」に全て変更	
P.26	(意見) 本文の1段落が2段落目の「そのため、…」につながらない。基本理念を示すページとなっていることから、「そのため、第3期野洲市教育振興基本計画を基本とし、」を「そのため、「誰もが学び・学んだ成果を活かせる生涯学習」を基本理念とし、」に修正	担当課の意見
P.27 計画の体系	3つの基本方針は、基本方針1から3へ繋がる一方向ではなく相互が連携していることを説明するため、p.28に追記	
P.26、27 計画の体系	「基本目標1～3」を「基本方針1～3」に変更	
P.33、36、41 対応するSDGs	「各施策の説明の後にそれぞれ「対応するSDGs」記入」を「各基本方針の最後にまとめて記入」に変更	
P.30 【取組内容】 ④ 歴史文化の適切な継承とまちづくりの活用	《事業名》「史跡永原御殿跡の本質的価値の保全・継承と実体感が得られる学びの場の創出」を「史跡永原御殿跡の保存整備と公開活用」に変更	担当課の修正
P.32 《事業名》	<p>「・図書館BOX」を「・学校・園への支援（としょかんBOX巡回、絵本セット巡回、ブックトーク等）」に変更</p> <p>以下3事業を追加  「・予約本受取ボックスをはじめとするアウトリーチサービス」  「・郵送貸出、宅配貸出等のバリアフリーサービス」  「・関係機関との連携事業（資料特集など）」</p>	

計画書素案 該当箇所	変更内容	備考
P.33 【取組内容】 ④ 歴史民俗博物館の利用促進	《事業名》「展覧会やテーマ展の開催」を「展覧会やテーマ展、講演会・講座の開催」に変更  「まが玉・土器づくり」を削除	担当課の修正
P.39 (3) 地域人材の育成と実践	「地域人材の育成」を「地域人材の育成と実践」に修正	事務局における検討により記載
P.43 資料一1 ■市民活動	説明全文修正	担当課の修正